

2013 Expert Collection

10月号 通巻第349号



株式会社
エキスパート・オブ・ジャパン

我社の商品はすべて **Made in japan** 表示をしています。

〒334-0062 埼玉県川口市榛松 699

TEL 048 (281) 1322 FAX 048 (286) 0866

http://www.exp-japan.jp e-mail: exp.offjapan@jasmine.ocn.ne.jp

勤勉なメイドインジャパン スノーシューズ シリーズ



強いぞニッポン

スノーシューズM (SN3)

A6063 アルミ製、爪はステンレス製 高さ 49 mm

カラー/シルバー バンドは赤色。

サイズ/410 mm×182 mm 重量/770g

冬山ラッセル用。 税込価格/¥11,172

フラット型 スノーシューズM (SN17) もあります

(前後反しのないタイプ) 税込価格/¥11,172

だんかつニッポン

スノーシューズL (SN4)

サイズ/441 mm×182 mm 重量/780g

その他の仕様Mと同じ。

出歯型アイゼンと共用できる。税込価格/¥11,550

フラット型スノーシューズL (SN18) もあります。

(前後反しのないタイプ) 税込価格/¥11,550

日本の民具・ワカンジキを現代風にアレンジした雪上歩行器。前後を反らせてるので急斜面でも上り下りが楽に行動できます。

- アイゼンでもスノーシューズM、Lは逆さにつける必要はありません。アイゼンの下にスノーシューズを装着して行動してください。
- いずれもフレーム直径は22mm×1mm厚。爪はステンレス製。丈夫さと、靴につけやすい固定方式が人気で国内シェア随一。サイズが大きいほどに雪に対する浮力が増します。
- 新型S、M、Lは鉄製 JIS トラスト中空 4×27 3価クロメートリベットを採用。世界一耐久性の強い雪上歩行器です。
- 固定バンドはユーザーが簡単に調整できるフリーサイズ。摩耗した際はユーザーが交換できます。
- スノーシューズS、M、Lに耐荷重を表示しない理由。体重の重い人が荷を背負ってラッセルしても壊れた前例はありません。特にリベットを現在の鉄製3価クロム製に変えてからは修理も皆無です。
- 弊社のスノーシューズはフリクション装着法で靴につけてください。(次頁参照)

スノーシューズ変革の経過

弊社がワカンジキを販売する以前は木製ワカンが全盛でした。冬山で使用すると簡単に壊れて1シーズンで2足~3足を購入しても当然な消耗品でした。

数社からアルミワカンも売り出されていましたが、それも1シーズン持てば文句がつけられません。もっと丈夫で長持ちするワカンを研究開発した結果が弊社のスノーシューズの原形です。

出歯アイゼンと共用できるLサイズを作れ。雪が付きにくいようパイプに色を着ける。多くの方々からアドバイスを頂き、その都度マイナーチェンジをした結果が現在のモデルです。

リベットもアルミ製から鉄六価クローム製に変わり、こんな丈夫なスノーシューズを作るなど文句を云われる始末です。

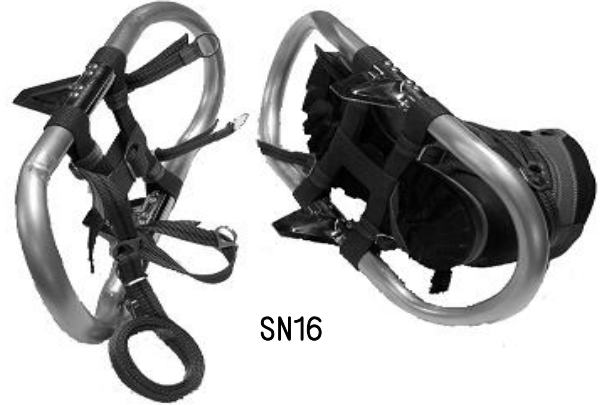
和みのニッポン

NEW スノーシューズS (SN16)

木製の立山わかん(360mm×250mm)、芦^{あしくら}崎わかん(360mm×180mm)に比べてわずかに大きいサイズです。スノーシューズM、Lと長さを同比率で小型化した新製品です。ステンレス製爪とリベットはM、Lと同じ。25mm幅のリングベルト、センターベルト、15mm幅のエキスパート型固定バンドもM、Lサイズと同じものを使用しました。

サイズ/380mm×182mm 重量/750g

税込価格/¥9,870



SN16

強いぞニッポン

スノーシューズM (SN3)

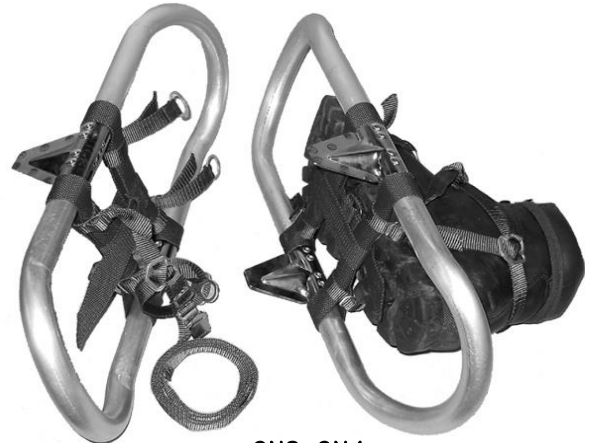
A6063アルミ製、爪はステンレス製 高さ49mm

カラー/シルバー バンドは赤色。

サイズ/410mm×182mm 重量/770g

冬山ラッセル用。 税込価格/¥11,172

フラット型 スノーシューズM (SN17) もあります。
(前後反しのないタイプ) 税込価格/¥11,172



SN3, SN4

だんとつニッポン

スノーシューズL (SN4)

サイズ/441mm×182mm 重量/780g

その他の仕様Mと同じ。

出歯型アイゼンと共用できる。 税込価格/¥11,550

フラット型スノーシューズL (SN18) もあります。
(前後反しのないタイプ) 税込価格/¥11,550

フリクション装着法

アイゼン、スノーシューズ、プチドラゴンを装着する際、固定バンドの摩擦力を利用して円滑にでき、かつ行動中にバンドが不用意に緩まない方法をフリクション装着法と称します。 考案者 石井貞男

固定バンドをつける時、バンドを丸カン、三角カンの内側(靴皮側)から通すと、次のリングに通す際にバンドが緩みます。通したバンドが緩まないように押えながら装着するのは寒い日にわずらわしい作業です。

固定バンドをリングの外側から通すと靴との摩擦力でバンドがロックされます。アイゼン、スノーシューズに三股カンがついている装備品にはやはり、リング部の外側からバンドを通してください。ヒールワイヤービンディング(㊦)式ではワイヤーをリングと同様に扱いバンドをワイヤーの外側から通します。

プチドラゴンなどもフリクション装着法は有効です。トラブルは生じません。我社の商品のみならず、他社製品にも効果が十分あります。



スノーシューズ装着例

がんばれニッポン リトルベアーⅡシリーズ

- 世界で初めて研究開発された6本爪軽アイゼン。トレッキングシューズを含む、あらゆる靴にジャストフィットします。アイゼン爪角度の発明特許商品。
- 最高級の世界で唯一のクロモリ鋼製。日本が誇る先端技術の焼入れ、塗装をほどこした自慢の商品。世界最軽量。コンパクトサイズ。着脱時間はワンタッチアイゼンに劣らず。装着感も勝れる秀作です。



フリーサイズ

エコですニッポン
ショートリトルベアーⅡ set (ST10)
サイズ/168 mm×110 mm。爪高 20 mm。重量/505g。
その他の仕様リトルベアーⅡと同じ。
税込価格/¥7,717

新製品

歴史のニッポン SP (超)リトルベアーⅡ set (ST31)

靴の上に乗せ、靴とアイゼンがぴったり合ったところで、付属のスパナで2本のボルトを締めつければ、ボルトを外さずにサイズ調整が完了する スライド式 新型6本爪軽アイゼン。微調整ができる。



サイズ調整ボルトの末端を広げて、外れないよう
マイナーチェンジしました。

—データ—
サイズ/168 mm×110 mm。爪高 31 mm。重量/505g。
世界最軽量のサイズ調整ができるクロモリ鋼
製/黒色電着塗装。アイゼンケース/紫色。
税込価格/¥8,379

フリーサイズ

リトルベアの逸話

弊社が登山業界に参入した当時は登攀用具が商品の大半を占めていました。それらを見た九州のお店から「こんなものばかりでは商売にならないよ。九州の山は6本爪アイゼンでほとんど登れる。ハイキングシューズに装着できる6本爪アイゼンを作ったら、あんたもこの業界でやっていける。どうだいやってみては？」

悪意は感じられませんでした。実にありがたいアドバイスです。当然、新しい商品を開発するには生む苦しみがあります。多くのお店からのアドバイスも頂き、ついに世界初の6本爪アイゼンが完成。商品名を「リトルベア」と名付けました。

楽しい登山をするために必ず知っておきたいこと

4つの点検と9つの危機

今年は富士山の世界遺産登録もあり、登山人口も増加しています。それに伴い、山岳事故も増加しつつあります。

登山初心者向けの事故防止として、「楽しく登山するために必ず知っておきたい4つの点検と9つの危機」を日本山岳ガイド協会(JMGA)より情報発信されていますので、紹介させていただきます。

【登山前の4つの点検】

1.体を準備する。

足の筋力が不足していると山では歩けなくなる。無理せず汗が滲む程度の運動で日々鍛える。

2.登山をイメージする。

地図を用意してきちんと計画を立てる。どこから登り、どのコースで、どこへ降りるのか。天気予報も登山3日前からチェックし、登山期間の天気も把握しておく。

3.持ち物を確認する。

3つの必携装備は、雨具(レインスーツ)・地図と磁石・ヘッドランプ。他に汗拭きシートやスマホ充電器、エネルギー補給の為に行動食(チョコレートや飴、クラッカーなど)

4.登山届を提出する。

最も大切な安全対策。搜索も無駄なく行え、最悪の事態を回避しやすくなる。入山前に登山口に提出。

【登山中の9つの危機】

1.道迷い(山岳遭難原因の第1位)

「おかしい」と感じたら、すぐに地図でルートや目印の確認。

2.転倒、転落・滑落

危険な場所はゆっくり歩く。靴ひもの緩みに注意。

3.疲労

「下り」が肝心。気を緩めず、休憩を取り、水分と栄養を補給する。

4.落石

しっかりと前・上を見て歩く。不注意で落石させてしまったら、大声で下方に叫ぶ。

5.落雷

6.崩落

天候の変化に十分注意し、音や光を感じたら山小屋に逃げるのが鉄則。

7.鉄砲水

雨上がり1~2日は危険があるので気を抜かず注意。

8.凍傷

全身を覆って保温できる衣類を携行。

9.野生動物

特に危険なのが、スズメバチ・熊・毒蛇。出会ったら慌てず、ゆっくりと離れ、刺激を与えない。

以上、「4つの点検と9つの危機」を知って、山岳事故を防ぎ、楽しい登山となるように心がけたいものですね。

やまのかたりべ

第36章 富士山の世界文化遺産決定とその後…

カンボジア・プノンペンで開催中のユネスコ(国連教育科学文化機関)世界遺産委員会は6月22日、日本政府が推薦した「富士山」(静岡県、山梨県)を世界文化遺産に登録することを決定した。諮問機関のイコモス(国際記念物遺跡会議)が、山体と一体ではないとして構成資産からの除外を勧告した三保松原(静岡市清水区)も、一転して登録を認めた。

遺産の名称は「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」に決まった。国内のユネスコ世界遺産は2011年登録の平泉(文化遺産・岩手県)と小笠原諸島(自然遺産・東京都)以来で17件目。県内では初。26日の世界遺産委の会合で正式に登録された。

審議では三保松原について、各国の委員が「題材にした芸術品は多い」などと除外勧告を疑問視する意見が相次ぎ、日本政府が推薦した全25件を世界遺産を構成する資産にふさわしいと認めた。

構成資産は標高1500メートル以上の山域と四つの登山道、周辺の神社、富士五湖など。山岳信仰の対象であるとともに、浮世絵などに描かれた日本の象徴として世界に影響を及ぼした文化的価値を高く評価した。

富士山は日本が世界遺産条約に批准した1992年から世界遺産登録を求める声上がり、当初は自然遺産の価値も検討された。しかし、山麓の開発が進んでいたことなどを理由に候補から外れ、文化遺産での登録を目指してきた

審査段階では「三保の松原を除く」という決定だったが、文化庁のロビー活動が功を奏したらしく、審議会場では外国(特にヨーロッパ諸国らしいが)の委員からの支持を得て、三保の松原から見た富士山の美しさに加えて、昔からこの地では富士山を対象に歌が読まれ名画が生まれたことの価値が、文化遺産に相応しいという評価で登録が決まって三保の松原を加えて富士山の世界遺産登録が決定した。

自然遺産としての価値はともかく、三保の松原を文化的価値が高いという世界の評価には素直に喜びたい。

しかし、ユネスコが登録した富士山を「荘厳な姿は信仰の対象と芸術の源泉で、西洋芸術の発展にも顕著な影響をもたらした」という登録決定理由は重い。独立峰の富士山だけでなく、その周辺に点在する神社や湧水、登山道、信仰遺跡群など合わせ、その文化と歴史的な価値の影響が「日本をはるかに超えて及んでいる」と称賛されたわけだが、今後富士山周辺が、観光の対象となることは間違いなく、登録により例年の1.5倍近くに増える見込みとも言われる。

観光に係わって生計を立てている人たちにとっては、観光客が大量に増える事を望んでいるが、そのためには、交通の便やより高度な性能を持った遊具や施設を導入したいと考えているだろう。そうになると、信仰の対象とは裏腹に表現は悪いが、刹那的な快楽を求める場となり、その違いはますます大きくなる。

登録された神社なども新たな悩みが発生しているという。テレビの映像は登録が決まった翌日から観光バスが押し寄せている様子を映し出している。今の世の中だから「これはビジネスになる」とばかり、おみやげ屋を開店する人も出るだろう。

それに伴い駐車場の設置。狭い道にとこころ構わず入り駐車する車は地元にとっては迷惑でしかなく、「もう少し静かに過ごしたい」という気持ちの人がほとんどではなからうか。また、ニュースで取り上げられた神社は満足なトイレの設備もないらしく、民家に駆け込む人も多いというから、この問題も今後騒動の種になりそうだ。

登山道も信仰の対象だというが、現在のその姿は全く対局に位置する。もともとは修験者たちが修業で昇り降りした登山道。それが江戸時代になり庶民の『富士講』が爆発的に広がったことは小学校の社会科学の教科書でも取り上げられている。

『富士講』とは、人々は集落単位に費用を積み立て、富士に登れば、たとえ貧しい町民や農民であっても同格、富士の前では、男女同格、万人平等という教えを実行する集まりであり、富士山信仰の基本である。その人たちが一歩一歩踏みしめてできたのが登山道であろう。

だが、本来の信仰登山は皆無といって良いほど廃れ、前の人の尻を見て登る観光登山に様変わり。テレビが紹介する頂上付近の様子は、人・人・そして人、立錐の余地もない人の山。満員電車よりも混んでいるようにも見受けられる。

現在でも年間で30万人以上が登っているというから、今後増える事はあっても減ることはないであろう。山小屋が予約で一杯となると、一気に登らざるを得なくなるのも仕方ない。そのような弾丸登山者も増えることは間違いない。

ユネスコの世界遺産登録は、そもそも「人類共通の財産として守り未来へ受け継ぐのが目的であり、観光振興は二の次」という考え方を、観光に携わっている人はもとより、富士山目指して訪れる人にどこまで浸透させられるかが今後の最大の課題になる。

うたえば 富士が
顔をだし
四方をにらみ
ほほえみがえし

山中湖畔より
見上げる 富士は
美しく 周囲を押し
ひときわ 自立ち



2013.03.21 撮影者:石井正子

あるアクシデント

金属製品の生産過程ではアクシデントはつきものです。十分注意をしても、大なり、小なり、トラブルが発生します。

6月12日(水)午後4時

スノーシューズのパーツ生産中に足を滑らせて転倒しました。両手に材料を抱えていたため、ものの見事な転倒です。

倒れた際に鉄製の作業台にぶつかった結果、右胸を強打して左足のすねに切り傷をつくりました。レントゲン検査では骨には異常ないようです。

とはいえ、左足の傷が治るまで、山歩きは休まざるを得ません。

6月13日(木) 朝

「やまのかたりベメンバーズ」にメールとFAXで事情を説明します。

「すまないが、6月16日の南高尾山稜縦走は6月23日に延期して欲しい。ごめんね。」

トラブルつづき

6月23日(日)

先週順延した南高尾山稜に登るつもりでJR高尾駅で下車して北口改札口前の集合場所に向かいます。

集合は9時です。あと20mで集合場所に着くという所でプラットホームから線路上に転落してしまいました。

すぐに駆けつけてくれた数名の駅員にかかえられ、駅員室に案内されます。ソファで休ませてもらううちに、集合場所で待つ友人が気になりました。

集合場所で待つ渋谷、安達と合流後、駅員に礼を述べ、京王線高尾山口に移動、ケーブル駅へと歩きます。

そのうち、今日は登れないと、判断しました。転落の痛みが全身に走ります。階段登りもままなりません。

昨日泊まった八王子京王プラザホテルに電話をかけ、カミさんが迎えに来るまで休ませて欲しいと頼むと、休憩プランがあると快諾してくれます。

タクシーを呼びホテルに戻り、部屋で休んでいるうちに車を飛ばして到着したカミさんが部屋に現れます。

そんな訳で川口営業所に帰ります。

6月24日(月)

朝から病院へ行き、レントゲン検査と外科の治療を受けました。

結果、「骨には、異常なし、全治3週間の打撲傷」だそうです。

大事をとって、しばらくは、やまのかたりべをお休みさせていただきます。

傷が治ったら、また高尾で会いましょう。「よろしくね」

(商品の紹介)

たよれるニッポン
3 段ピクステッキ (S10)

- ヘッドはクロモリ鋼、焼き入れ済みのピッケル形状。ただし、ピッケルではない。あくまでもステッキです。
- シャフトはA7001 (超ジュラルミン) 製楕円形のパイプの3段式。
- 長さ調節に腕力を必要とせず操作も簡単です。手がかりのないところではピック部を地面に打ち込んで通過できます。足元が不安定なところではブレード部で足がかりをつくれます。バランスを保ち、スリップ防止にも役立ちます。

グリップはクロモリ鋼アイゼンと同じ焼入れ加工。ラチェット式。ヘッドはピッケル形状。

カラー(2色)・ワイン 最短 532mm×最長 1070mm 重量 325g
・ブルー 最短 580mm×最長 1220mm 重量 370g

税込価格：¥12,600

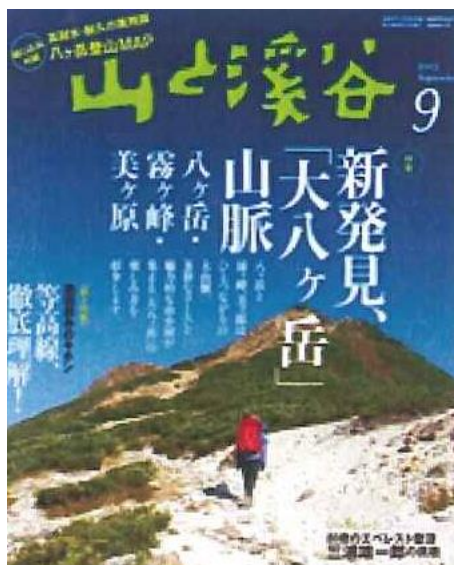
(バスケット大、小、ピックカバー、石突プロテクター付)

3段ピクステッキにはバスケット大が取付けられます。(直径 96Φ、押込式)。3段ピクステッキにはもれなくバスケット大がついています。バスケット大をつけるとステッキが雪にもぐらずに行動できます。



バスケット大
税込価格¥1,155

「山と溪谷」(山と溪谷社出版) 9月号にて紹介されました。



ピッケル状ヘッドのステッキ
エキスパート・オブ・ジャパン
3段ピクステッキ
1万2600円

この3段ラチェット式ステッキの特長は何といってもこのヘッドの形状。クロモリ鋼焼き入れ済みのピッケル状のヘッドは、手がかりのない場所ではピックを地面に打ち込んだり、足元が不安定なところではブレードで足がかりを作ったりとさまざまに活躍する。積雪時にも使える直径96mmの大型バスケット付属。他に小径バスケット、ピックカバー、石突プロテクターも付属する。ワインを1名に。

※本品はステッキとしての用途で製造されたものでピッケルではない
カラー=各1色 サイズ=ワインL532~1070mm/ブルーL580~1220mm
重量=ワイン325g/ブルー370g
問合せ先=エキスパート・オブ・ジャパン ☎048-281-1322

